

[利益処分案]

(単位：百万円)

科 目	2002年度	2001年度	前 年 比
当 期 未 処 分 利 益	▲ 167,703	▲ 243,794	76,090
電 算 機 積 立 金 取 崩 額	-	80,550	▲ 80,550
海 外 投 資 等 損 失 準 備 金 取 崩 額	1,226	100	1,126
プ ロ グ ラ ム 等 準 備 金 取 崩 額	30,817	6,600	24,217
特 別 償 却 準 備 金 取 崩 額	8,420	2,500	5,920
圧 縮 記 帳 積 立 金 取 崩 額	641	500	141
別 途 積 立 金 取 崩 額	138,942	170,000	▲ 31,057
計	12,343	16,455	▲ 4,112
これを次のとおり処分いたします。			
利 益 配 当 金	- 〔 一株につき -円 〕	5,004 〔 一株につき 2円50銭 〕	▲ 5,004
プ ロ グ ラ ム 等 準 備 金	2,300	2,900	▲ 600
特 別 償 却 準 備 金	-	1,100	▲ 1,100
圧 縮 記 帳 積 立 金	-	100	▲ 100
次 期 繰 越 利 益	10,043	7,351	2,692

[配当政策]

当社の利益配分の基本的な考え方は、株主に安定的な利益の還元を図るとともに、財務体質の強化及び業績の中長期的な向上を踏まえた積極的な事業展開に備えるため、内部留保を充実することにあります。

しかしながら、当期においてはIT市場の構造変化の急加速に対応し、次年度以降の収益力の回復の基盤を確保するため緊急の事業構造改革を追加実施したことなどにより特別損失を計上し、単独ベースの通期の実績は1,750億円の純損失と、前年度に引き続き損失を計上することとなりました。従いまして、当期の期末配当につきましては誠に遺憾ながら、実施を見送らせていただくことといたしました。今後は、本業による収益力の回復を確実にするとともに、自己資本の充実など財務体質の抜本的改善を早急に実現するため、保有資産の効率化などの対策への取り組みを速やかに実行してまいります。